

## [2024.5.14] 第2話 「縦割り掃除」

この「よもやま話」をご覧の方が中学生の頃は、学校でどのように掃除をしていましたか？  
おそらく、学級の班（グループ）ごとに掃除場所の分担があり  
定期的に分担場所をローテーションして取り組んでいた方が多いと想像します。

本校では、今年度「縦割り掃除」を導入しました。  
文字通り、1年生から3年生まで縦割りでグループをつくり掃除に取り組みます。  
例えば3年生の教室を、1, 2年生の生徒が3年生と一緒に掃除をします。

さて、「イエナプラン教育」をご存じでしょうか？  
ドイツが発祥の、異学年を一つのグループにして授業等を行う教育です。  
日本では、広島県福山市や名古屋市の小学校で取り入れている例もあります。

「イエナプラン教育」を行う一番の利点は  
『他者と共に生きることを学べる』ことです。

本校で「イエナプラン教育」を授業に取り入れることは  
教育課程（授業の仕組み）等を大幅に変更しなくてはならないため難しいですが  
掃除で取り入れることは、少し工夫をすれば可能だと考えました。  
そこで、今年度の新たな挑戦として取り組み始めています。

下の写真は職員によるものです。

「色の違う靴が一つのバケツを囲む」  
今年度の縦割り掃除、校内を回っていて心温まりましたと感想が添えてありました。



トイレ掃除では、毎年1年生に掃除方法をどのように周知するのが課題でした。  
今年は、同じ掃除場所の2, 3年生の先輩が  
「私たちが教えるから大丈夫！」と、頼もしい言葉が担当の職員に返ってくるようです。

取り組みが進むと、いろいろな問題がきつと出てくると予想します。  
そのことを生徒が当事者となって話し合い、納得解を出すことに大きな価値があります。  
掃除ですから、「環境をきれいにすること」を目的として  
いろいろな考え、そして掃除の進め方が出てくることを楽しみにしています。